



東日本大震災

ともに乗り越える

平成23年3月11日(金)午後2時46分ころ、三陸沖を震源とする国内観測史上最大マグニチュード9.0の地震が東日本を襲いました。
この地震で亡くなられた方に謹んでご冥福をお祈り申し上げます。また、被災された皆さまに心からお見舞い申し上げます。

「まさか…」誰もがそう思ったでしょう。
行方市でも震度6弱を観測した地震は、家屋の倒壊、断水、道路の陥没や公共施設の損傷など、市内各地に大きな爪あとを残しました。

また、この地震で被災した東京電力福島第一原子力発電所から放射性物質が漏れ出す事故を受け、福島、茨城、栃木、群馬の4県は、政府から、ハウレンソウや原乳などの農畜産物の出荷停止を指示されました。本市をはじめ農業を基幹産業とする市町村に



議場も天井とダクトが損傷

とって、新たな被害というべき事態も起きています。

議会では、地震発生直後から、議員活動、また、議会として、被害状況の把握に努めるほか、3月22日の本会議において、「平成23年度予算は災害復旧事業を優先すべき」との意見を付し、また、「農畜産物の出荷停止への確な対応を求める意見書」を国へ送付するなど、市民生活や地域経済の早期復旧・復興に向けた取り組みを行ってきました。

今回の地震は、私たちの想



議会として被害現場を確認しました

定をはるかに超える甚大な被害を各地にもたらしました。自然の計り知れない力に、改めて畏怖(ふそ)します。
今後も議会は、市民の皆さまからのご意見・要望を反映すべく、市の防災計画を再度検証し、市民の安心・安全を取り戻すための調査・提言を行うとともに、復旧・復興に向けた財政支援を国へ要望していきます。
この難局をともに乗り越えましょう。

行方市議会議員は

20 人になりました

行方市議会は、平成23年4月24日に行われた市議会議員一般選挙によって、新しく20人の議員でスタートしました。

新議員は、臨時号(平成23年6月1日発行)で紹介します。



おことわり

議員の任期が平成23年4月21日で満了したため、広報委員会委員の選任の都合上、誠に勝手ながら今号の編集後記はお休みさせていただきます。

次号からまた再開しますのでご了承ください。